



Husqvarna®



325iLK

目次

はじめに.....	2	トラブルシューティング.....	13
安全性.....	3	搬送、保管、廃棄.....	13
組立.....	9	主要諸元.....	14
Operation（動作）.....	10	アクセサリ.....	15
メンテナンス.....	12	適合宣言.....	16

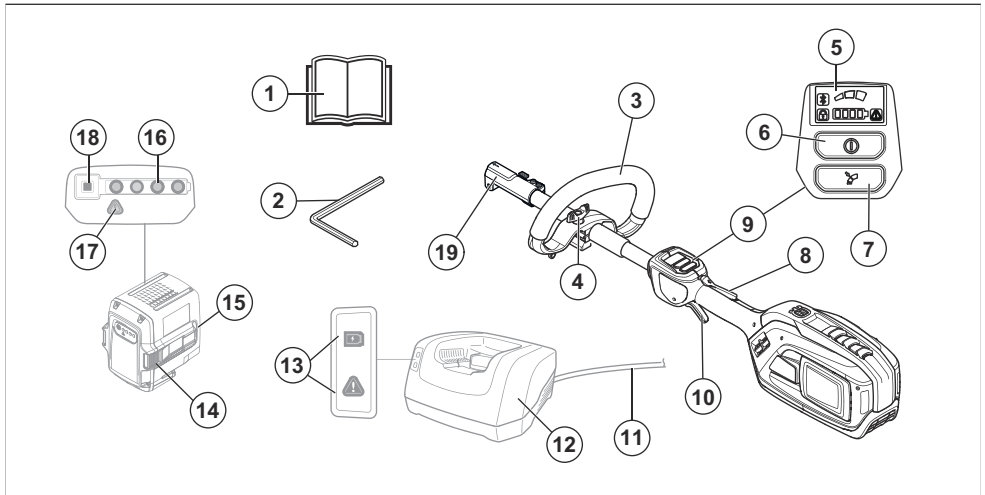
はじめに

用途

このパワーユニットは、認可されたアクセサリと組み合わせた場合にのみ機能するペアユニットです。認可さ

れたアクセサリについては、アクセサリ 15 ページを参照してください。この取扱説明書は、必ず認可されたアクセサリの取扱説明書と併せてお読みください。

製品の概要



1. 取扱説明書
2. 4 mm 六角レンチ
3. ループハンドル
4. ノブ
5. ユーザーインターフェイス
6. スタート/ストップボタン
7. 速度モードボタン
8. パワートリガーロック
9. キーパッド
10. パワートリガー
11. バッテリー充電コード
12. バッテリー充電器
13. 電源および警告 LED
14. バッテリーリリースボタン
15. バッテリー
16. LED インジケータ（充電状態の表示）

17. 警告 LED
18. バッテリーインジケータボタン
19. アタッチメント用カップリング

製品に表記されるシンボルマーク



警告！本製品の使用には危険が伴います。不注意な取り扱いや誤った取り扱いは作業者や周囲の人などに深刻な、時には致命的な傷害を引き起こすことがあります。本取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解することが非常に重要です。本製品をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容をしっかりと把握してください。



出力シャフトの最高スピードです。

V

定格電圧、V



直流。



本製品は EC 指令適合製品です。



この製品は該当する UK 規制に準拠しています。



製品やパッケージ上のマークは、本製品が家庭ゴミとして取り扱われてはならないことを示します。本製品は適切なリサイクル施設に廃棄しなければなりません。



雨天では使用しないでください。

yyyywwxxxx

製造番号は銘板に記載されています。
yyyy は製造年、ww は製造された週で、xxxx はシリアル番号です。

注記： 本製品に付いている他のシンボル／銘板は、他の販売地域での認定条件を示しています。

メーカー

Husqvarna AB

Drottninggatan 2, SE-561 82 Huskvarna, Sweden, tel: +46-36-146500

製造物責任

製造物責任法に基づき、当社は、次の場合については本製品を原因とする損傷について責任を負いません。

- 本製品が誤って修理された場合。
- メーカーによるものではない部品、またはメーカーの認可していない部品を使用して本製品を修理した場合。
- メーカーによるものではないアクセサリー、またはメーカーの認可していないアクセサリーを本製品に使用した場合。
- 認定サービスセンターまたは認定機関で本製品が修理されていない場合。

安全性

安全性の定義

警告、注意、注記は、取扱説明書の特に重要な部分を示しています。



警告： 取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が負傷したり、死亡したりするか、あるいは付近の人に損傷を与える危険があることを意味します。



注意： 取扱説明書の指示に従わない場合、製品や他の物品、または隣接するエリアに損傷を与える危険があることを意味します。

注記： 特定の状況で必要とされる詳細情報を提供するために使用されます。

パワーツールの一般的な安全上の警告



警告： 本電源ユニットの取扱説明書と併せて、認可されたアクセサリーの取扱説明書も必ずお読みください。



警告： このパワーツールに付属している安全に関する警告、注意事項、図、仕様をすべてお読みください。下記のすべての指示に従わない場合、感電、火災、あるいは深刻な傷害を招くことがあります。

注記： すべての警告や説明は、以後の参考のために保管してください。警告の「パワーツール」とは、電源で動作する（コード付）パワーツールまたはバッテリー駆動（コードレス）のパワーツールを指します。

作業エリアの安全

- 作業場所を清潔に、照明を明るく保ちます。乱雑な、あるいは暗い場所では、事故が起こりやすくなります。
- 可燃性の液体や気体、塵がある所など、爆発性雰囲気の中でパワーツールを動作させないでください。パワーツールは、塵やガスを発火させる火花を発生させます。
- パワーツールの操作中は子供やそばにいる人たちと十分な距離を置いてください。注意が散漫になると、操作ミスを引き起こす可能性があります。

電気保安

- パワーツールのプラグはコンセントに適合しなければなりません。決してプラグを改造しないでください。アダプタプラグをアースの付いた（接地された）パワーツールとともに使用しないでください。改造されていないプラグおよび型の同じコンセントを使用すれば、感電のリスクが低くなります。
- パイプやラジエータ、レンジ、冷蔵庫など、アースの付いた表面または接地された表面に触れないようにしてください。体が接地していたりアースされていたりすると、感電のリスクが高くなります。
- パワーツールを雨露や湿潤な環境に曝さないでください。パワーツール内に水が浸入すると、感電のリスクが高まります。
- コードを本来の目的以外に使用しないでください。コードを持ってパワーツールを移動したり、引っ張ったり、電源を抜いたりすることのないようにしてください。熱やオイル、とがった先端や可動部品にコードを近づけないでください。コードが破損したり絡まると、感電のリスクが高くなります。
- 屋外でパワーツールを操作する場合は、屋外での使用に適した延長コードを使用してください。屋外での使用に適したコードを使用することで、感電の危険性は少なくなります。
- 湿気のある場所でパワーツールを操作せざるを得ない場合は、電源を保護するために漏電遮断器（RCD）使用してください。RCD は感電の危険を低減します。

個人の安全

- パワーツールを操作するときは、十分に気をつけて慎重に行動し、常識に従ってください。疲れているときや、医薬品およびアルコールの影響が残っている状態でパワーツールを使用しないでください。パワーツールの操作中は、一瞬の不注意が重大な傷害につながる場合があります。
- 身体保護具を使用してください。常に眼の保護具を着用してください。防塵マスクや滑り止め用の安全靴、ヘルメット、イヤマフを使用すると、負傷の危険性が少なくなります。
- 予期せぬ始動を防止してください。電源およびバッテリーパックを接続したり、ツールを手にとって運んだりする前に、必ずスイッチがオフの位置にあることを確認してください。スイッチに指を置いてパワーツールを運んだり、スイッチが入った状態でパワーツールに圧力をかけると、事故につながります。
- パワーツールをオンにする前に、調整キーとレンチを外してください。パワーツールの回転部品にレンチやキーが取り付けられたままになっていると、負傷の原因となります。
- 無理な体勢で作業しないでください。常に、安定した足場とバランスを保つようにしてください。こうすることで、予期しない事態でもパワーツールを安定した状態に保つことができます。
- 適切な服装を心がけてください。ゆったりした衣服や装身具を身につけないでください。可動部品に髪の毛や衣服を近づけないでください。ゆったりした衣服や装身具、長髪は可動部品に絡まるおそれがあります。

- 集塵装置の接続用装備が提供されている場合、それらが接続されて正しく使用されているか確認してください。集塵装置を使用すると、塵に関連する危険を回避できます。
- ツールを頻繁に使用することによる慣れで、安全への関心を失ってツールの安全原則を無視することは非常に危険です。不注意により、一瞬で深刻な事故が発生するおそれがあります。

パワーツールの使用と手入れ

- パワーツールを無理に使用しないでください。用途に合った正しいパワーツールを使用してください。正しいパワーツールを使用した方が、意図された速度でより良く安全に作業を行えます。
- スイッチが機能しない場合はパワーツールを使用しないでください。スイッチで制御できないパワーツールは危険なため、修理する必要があります。
- パワーツールの調整、アクセサリの変更、またはパワーツールの保管前は、電源プラグを外し、パワーツールからバッテリーパックを取り外してください（着脱可能な場合）。予防的な安全対策を行うことで、誤ってパワーツールを始動させる危険性が少なくなります。
- 使用していないパワーツールは子供の手の届かない所に保管して、パワーツールやこの取扱説明書に詳しくない人間がパワーツールを操作しないように注意してください。不慣れたユーザーがパワーツールを扱うと危険です。
- パワーツールとアクセサリをメンテナンスします。可動部品の誤調整や巻き付き、部品の破損やパワーツールの動作に影響する他の状態がないかどうか確認します。破損している場合は、使用する前にパワーツールを修理してください。ほとんどの事故は、正しいメンテナンスを受けていないパワーツールが原因です。
- 切削工具は研いだ状態で清潔に保ちます。正しくメンテナンスされて研いである切削工具は、バインドすることも少なく、制御が簡単です。
- パワーツール、アクセサリ、工具ビットなどは、これらの取扱説明書に従って使用し、作業条件および行う作業を考慮してください。意図されていない作業でパワーツールを使用すると、危険な状況を招くことがあります。
- ハンドル部および保持面は乾燥させて、オイルや油が付着しないようにきれいな状態を保ってください。ハンドルと保持面が滑りやすいと、予期しない状況でツールの安全な取り扱いや制御ができません。

バッテリーツールの使用と手入れ

- メーカー指定の充電器のみを使って充電してください。1 種類のバッテリーパックのみに適合する充電器は、それ以外のバッテリーパックの充電で使用する、火災を起こす恐れがあります。
- 仕様で指定されたバッテリーパックのみでパワーツールを使用してください。それ以外のバッテリーパックを使用すると、怪我や火災を招く危険があります。

- ・ **バッテリーパックを使用しないときは、ペーパー、リップ、コイン、キー、爪きり、ネジなどの金物、あるいは端子間を短絡する恐れがある他の小さな金物から遠ざけるようにしてください。**バッテリー端子の短絡は、火傷や火災を引き起こす恐れがあります。
- ・ **劣悪な環境では、液体がバッテリーから漏れ出すことがあります。**そのような場合、液体には触れないようご注意ください。もし万が一誤って触れてしまった場合、水で洗い流してください。液体が目に入ってしまった場合、医師の診察を受けてください。バッテリーから漏れ出した液体は、炎症や火傷を引き起こすことがあります。
- ・ **故障した、または改造されたバッテリーパックやツールは使用しないでください。**故障した、または改造されたバッテリーは、予測不可能な挙動を起こし、発火や破裂、障害の原因となる可能性があります。
- ・ **バッテリーパックやツールを火や高温にさらさないでください。**火または 130°C (265°F) 以上の温度環境にさらすと爆発する恐れがあります。
- ・ **充電の手順にすべて従い、指示された温度範囲外でバッテリーパックまたはツールを充電しないでください。**充電を適切に行ったり、指定された範囲から外れた温度環境で行ったりした場合、バッテリーの損傷や火災発生の危険の増加につながることがあります。

サービス

- ・ **パワーツールのサービスは、資格のある修理担当者と同じ交換部品を使って行うようにしてください。**こうすることで、パワーツールの安全性を維持できます。
- ・ **損傷したバッテリーパックを決して修理しようとしないでください。**バッテリーパックの修理は、製造元または認定サービス代理店が行えません。

その他の一般的な安全情報

- ・ **本製品の電源をオフにしてから別のエリアに移動してください。**本製品を別の人に渡すときは、必ずバッテリーを外してください。
- ・ **本製品を置くときは、必ず先に電源をオフにして、バッテリーを取り外してください。**電源を入れた状態で本製品を放置しないでください。
- ・ **切断ツールは、本製品の電源をオフにした後もすぐには停止しません。**
- ・ **本製品の使用前と、何らかの衝撃を受けた後は、磨耗や破損の兆候がないか確認の上、必要があれば修理してください。**
- ・ **本製品の操作中に何かがカッティングアタッチメントに挟まった場合は、本製品を停止して、電源をオフにしてください。**カッティングアタッチメントが完全に停止していることを確認してください。本製品またはカッティングアタッチメントを清掃、点検、または修理する前に、バッテリーを外してください。
- ・ **使用前に本製品を点検してください。本製品の安全装置 7 ページおよびメンテナンス 12 ページを参照してください。**故障している製品は使用しないでください。この取扱説明書の内容に従って、安全点検、メンテナンス、サービスを行ってください。
- ・ **故障したカッティングアタッチメントを使用すると、事故の危険性が高まる恐れがあります。**
- ・ **汚れやヒビがないかギアを点検します。**ブラシを使用してギアから草や葉を落とします。必要に応じて、手袋を着用してください。
- ・ **冷却用空気取り入れ口に物が入らないよう常に注意してください。**
- ・ **トリマーヘッドが完全にトリマーに装着されているか確認します。**
- ・ **始動する前に、すべてのカバーやガード、ハンドルを取り付ける必要があります。**
- ・ **本製品が正常に動作することを確認してください。**すべてのナットとネジが確実に締められているかどうかを確認します。
- ・ **トリマーヘッドとトリマーガードに損傷やひびのないことを確認します。**トリマーヘッドやトリマーガードが衝撃を受けたたり、ひびが入っていたりした場合は交換します。使用するカッティングアタッチメントに推奨のガードを必ず使用してください。「主要諸元」の章を参照してください。
- ・ **本製品は、慎重かつ適切に使用しないと、危険な道具となります。**本製品により、操作者や付近にいる人が重傷を負う、または死亡するおそれがあります。
- ・ **本機は、正常な体力や感覚、精神力がない人や、経験や知識のない人（子供を含む）の使用を想定していません。**ただし、使用者の安全に責任を持つ人物が本機の使用に関して監督や指導をする場合を除きます。子供が本機で遊ばないように、監視する必要があります。
- ・ **本機を子供に使用させたり、本機の付近に子供を近づけたりしないでください。**本機は簡単に始動できるため、十分に監視していなければ子供が始動することも可能です。重大な身体的傷害を引き起こす危険があります。そのため、本機が十分な監視下にならない場合はバッテリーを外してください。
- ・ **子供、または本製品やバッテリーの扱いに不慣れた人が本製品を使用しないようにしてください。**
- ・ **本機は、鍵のかかる場所に保管し、子供や、承認を受けていない人が触れることのないようにしてください。**
- ・ **保管や搬送の際は、必ずカバーをかけてください。**
- ・ **常に切断エリアから手足を離し、特にモーターのスイッチをオンにするときは注意してください。**
- ・ **本製品の電源をオフにしてカッティングアタッチメントが完全に停止するまで、カッティングアタッチメントに手や足を近づけないようにしてください。**
- ・ **本製品が作動しているときやカッティング装置が回転している最中に、切断対象を外したり、他の人が切断対象を外したりすることがないようにしてください。**重症事故の原因になる可能性があります。
- ・ **周囲の人やその所有物をさまざまな事故や危険にさらさないようにする責任は、使用者自身にあることを忘れないでください。**
- ・ **いかなる理由であれ、製造者の承認を得ることなく本製品の設計に変更を加えないでください。**常に純正の部品をお使いください。不認可の設計変更や付属品は、使用者やその他の人の重傷や致命傷の原因となることがあります。品質保証されていないアクセサリや交換部品を使用した場合、損害または製

造物責任に対して保証が適用されないことがあります。

- 本製品に使用可能なアクセサリは、「主要諸元」の章で推奨されているカッティングアタッチメントのみです。
- 何らかの改造を受け、出荷時の仕様と異なっている製品は、絶対に使用しないでください。
- 本製品に不具合がある場合は絶対に使用しないでください。この取扱説明書の内容に従って、安全点検、メンテナンス、サービスを行ってください。メンテナンスやサービスの内容によっては、専門家で行わなければならないものもあります。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。
- 悪天候下での作業は疲れやすく、危険性も高まります。濃霧、豪雨、強風、厳寒、落雷の恐れがあるなど、天候が非常に悪い場合はリスクが高まるため、本製品を使用しないことをお勧めします。
- ハシゴ、スツール、その他の不安定な台に乗って作業しないでください。
- 使用しないときは、屋内に本製品を保管してください。
- 起こり得る状況をすべて予測し、対応することは不可能です。常に注意を払い、常識に合った使用方法で操作してください。使用者の能力範囲外であると思われる場合は、操作を行わないでください。これらの注意事項を読んだ後でも、不明点などがある場合は、使用を続けずに専門コンサルタントにご相談ください。
- 作業中は 15 メートル以内に人や動物が近づかないようにしてください。同じエリアに数人の作業者がいる場合、安全距離を 15 メートル以上とる必要があります。重傷事故のおそれがあります。誰かが近づいたら、すぐに本製品を停止してください。本製品を持って向きを変えるときは、まず後ろを確認して、安全距離内に誰もいないように徹底してください。
- 本製品の操作中に何かがカッティングアタッチメントに挟まった場合は、本製品を停止して、電源をオフにしてください。カッティングアタッチメントが完全に停止していることを確認してください。本製品またはカッティングアタッチメントを清掃、点検、または修理する前に、バッテリーを外してください。
- 人、動物、その他の物体が本製品の操作を妨げたり、カッティングアタッチメントに触れたり、カッティングアタッチメントによりはじかれた物体に接触したりしないようにしてください。事故のときに助けを求めることができない状況では、本製品を使用しないでください。
- 身体の動きが自由に取れ、足場が良いことを確認してください。とっさに身をかわさなければならぬ場合に邪魔になる物（木の根、枝、溝など）が周囲にないか確認してください。斜面で作業する場合は、特に注意してください。
- 歩きながら操作し、決して走らないでください。
- 作業エリアを点検します。石や割れたガラス、くぎ、鋼線、ひもなど、固定されておらず飛ばされたりカッターやカッターガードに絡まったりしそうなものをすべて取り除きます。

- 鋸断中に飛んでくる可能性のある枝の切株に注意してください。石やその他の物が飛ばされるおそれがあるため、地面付近で鋸断作業をしないでください。
- 衣服や体の部分が、作動している状態のカッティングアタッチメントに接触しないようにしてください。本製品は腰から下の位置に保持してください。
- 飛んでくる物に気をつけてください。常に認可された防護メガネを着用してください。カッティングアタッチメントガードの上に身を乗り出さないでください。石やごみなどが目に入って、失明したり重傷を負ったりする可能性があります。
- イヤマフを着用している間は、警告信号や叫び声に気を付けてください。エンジンが停止したら、速やかにイヤマフを外してください。
- 異常な振動が発生した場合は、適切な長さまで新たにコードを引き出し、振動を止めてください。
- 異常な振動を شدした場合は、本製品を停止してバッテリーを取り外してください。
- 循環器系の弱い人が振動を長期間受け続けると、循環器障害や神経障害を起こすことがあります。過度の振動を受け続けたために症状が現れた場合は、医師の診断を受けてください。症状にはしびれ、感覚麻痺、ビリビリ感、刺痛、痛み、脱力感、皮膚の色や状態の変化などがあります。これらの症状は通常、指や手の甲、手首に現れます。
- 本製品は常に両手で持ってください。本製品は身体の右側に保持してください。

プロテクティブ装具



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本製品を使用するときは、常に、認可された身体保護具を着用してください。身体保護具で怪我を完全に防止できるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合、負傷の度合いを軽減することができます。適切な保護具の選択については、販売店にご相談ください。
- 落下物の危険性がある場合には保護ヘルメットを使用してください。
- 騒音を十分に軽減する認可されたイヤマフを着用してください。長時間騒音にさらされることは、恒久的な聴覚障害の原因になることがあります。
- 認可された防護メガネを使用してください。パイザーを使用する場合は、認可された防護ゴーグルも使用する必要があります。認可された保護メガネは、米国の ANSI Z87.1 規格または EU 諸国の EN 166 に適合しなければなりません。
- 顔を保護するためにパイザーを使用してください。眼の保護にはパイザーでは不十分です。



+



- ・ カッティング装置の取り付け、点検、清掃を行う場合は、必要に応じて保護グローブを着用してください。
- ・ 丈夫で滑りにくいブーツを着用してください。
- ・ 丈夫な素材でできた服を着用してください。常に厚手の長いズボンと長袖を着用してください。小枝や枝が引っかかるようなゆったりした衣服は身につけないでください。宝飾品、半ズボン、サンダルを着用したり、はだしで作業したりしないでください。安全のため、髪の毛は肩よりも上にまとめてください。



- ・ 救急器具を近くに準備してください。



本製品の安全装置



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示を読んでください。

この項では、本製品の安全機能とその目的、本機の正しい動作を確保するための検査とメンテナンスの方法について説明します。本製品の部品の位置については、「はじめに2ページ」を参照してください。

本製品のメンテナンスを適切に行わなかったり、専門技術者が整備・修理を行わなかったりすると、本製品の寿命が短くなり、事故発生の危険性が増します。詳しくは、お近くのサービス代理店にお問い合わせください。



警告： 安全装置に欠陥のある製品は決して使用しないでください。本項目の記載に従って、本製品の安全装置の点検、メンテナンスを行ってください。お持ちの製品がこれらの点検項目を一点でも満たさない場合は、お近くのサービス代理店に修理を依頼してください。

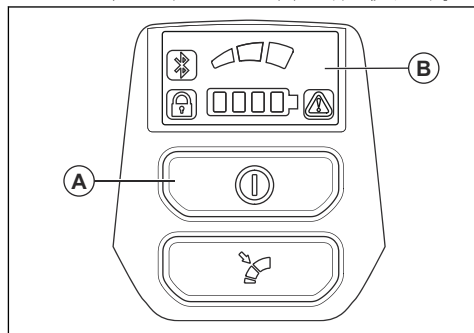


注意： 本機に関するすべてのサービス、修理には、特別な研修が必須です。本機の安全装置には、特に研修が必要です。本機が下記の検査のいずれかに不合格であったときは、サービス代理店に連絡してください。弊社の製品を購入された場合、専門的な修理とサービスの提供が保証されています。本機を販売した小売店がサービス代理店ではな

い場合、最寄りのサービス代理店の住所を小売店にお尋ねください。

ユーザーインターフェイス のチェック

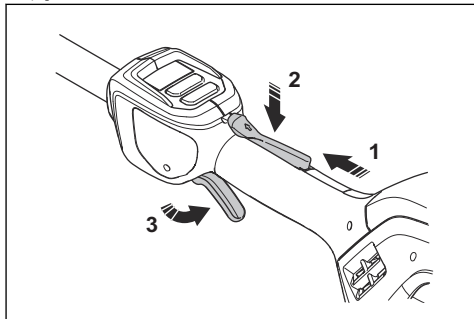
1. スタート/ストップボタン (A) を押し続けます。



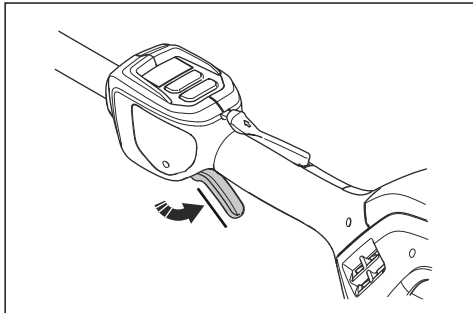
- a) 製品に電源が入るとディスプレイ (B) が表示されます。
 - b) 製品の電源が切れるとディスプレイが消えます。
2. ディスプレイに警告インジケータが表示されている、または点滅している場合は、**Keypad** (キーパッド) 13 ページを参照してください。

パワートリガーロックのチェック方法

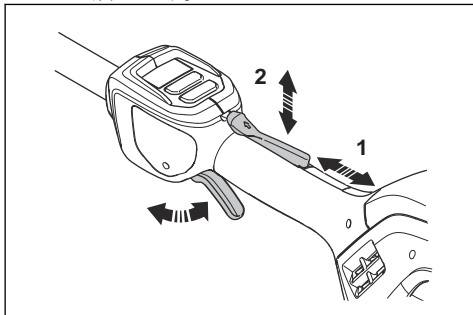
パワートリガーロックは操作ミスを防ぐためのものです。パワートリガーロックを前方 (1) に押し、次にハンドルの方 (2) に押し込むと、パワートリガー (3) が解放されます。ハンドルから手を放すと、パワートリガーとパワートリガーロックはともに元の位置に戻ります。この動作は、独立した3つのスプリングで制御されています。



1. パワートリガーロックが元の位置にあるときに、パワートリガーがロックされていることを確認します。



2. パワートリガーを押し、指を放すと元の位置に戻ることを確認します。



3. パワートリガーとパワートリガーロックがスムーズに動き、リターンスプリングが正しく作動することを確認します。
4. 本製品を始動します。本製品の始動方法 11 ページを参照してください。
5. 最高速度で使用します。
6. パワートリガーを放し、カッティングアタッチメントの回転が止まり、静止することを確認します。

組み立ての安全注意事項



警告： 本パワーユニットの取扱説明書と併せて、認可されたアクセサリーの取扱説明書もお読みください。

- 本製品を組み立てる前に、本製品からバッテリーを取り外してください。
- 認可された保護手袋を着用してください。
- 不具合のあるガードや不適切なガードを使用すると、負傷の原因となる場合があります。認可されたガードが取り付けられていないカッティングアタッチメントは使用しないでください。
- 本製品を始動する前に、カバーとシャフトを正しく取り付けてください。
- アタッチメントにハーネスが付属している場合は、ハーネスを製品に正しく取り付けてください。ハーネスは作業の安全を確保し、作業者や周囲の人の負傷を防止します。

メンテナンスのための安全注意事項



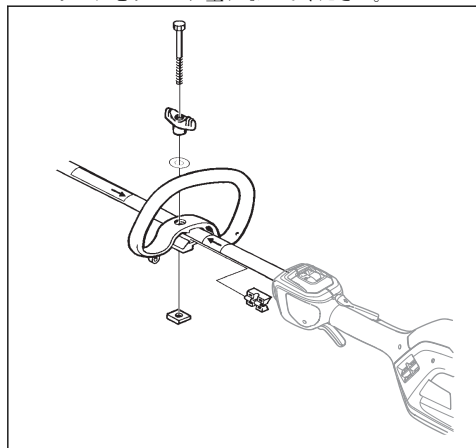
警告： 本製品のメンテナンスを行う前に、以下の警告指示を読んでください。

- メンテナンス、その他の点検、または製品の組み立てを行う前に、バッテリーを取り外してください。
- 作業者は本取扱説明書に記載されているメンテナンスとサービスだけを実施してください。メンテナンスおよびさまざまなサービスについては、サービス代理店にお問い合わせください。
- バッテリーまたはバッテリー充電器は、水で洗浄しないでください。強い洗剤を使用すると、プラスチックの部品が損傷する場合があります。
- メンテナンスを実施しないと、製品の寿命が短くなり、事故の危険性が増します。
- 特に本製品の安全装置については、すべての整備と修理の作業に特殊な訓練が必要です。メンテナンスを実施した後、この取扱説明書の点検項目の中に不合格の項目があった場合は、サービス代理店にお問い合わせください。当社は、お客様の製品のために、プロフェッショナルな修理と整備を提供することを保証します。
- 純正の交換部品のみを使用してください。
- カッティングアタッチメントを修理する際は、常に丈夫な作業用手袋を使用してください。ブレードの刃先は非常に鋭く、触れると怪我をしやすいためご注意ください。

組立

ループハンドルの組み立て方法

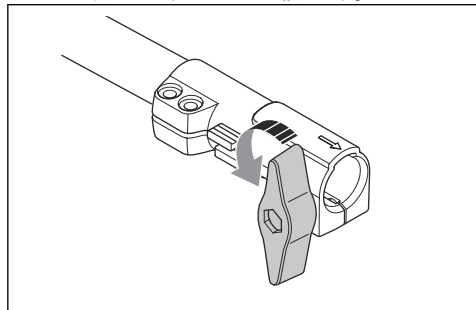
1. ループハンドルを、矢印の間の位置で、シャフトに取り付けます。ループハンドルまたはサスペンションリングをラベルに重ねないでください。



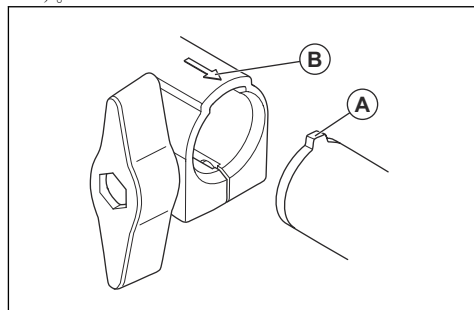
2. ループハンドルのスロットにスペーサを入れます。
3. ナット、ノブ、ネジを取り付けます。きつく締めないでください。
4. 本製品が快適な位置にくるように調整します。
5. ボルトを締めます。

ツープースシャフトの組み立て

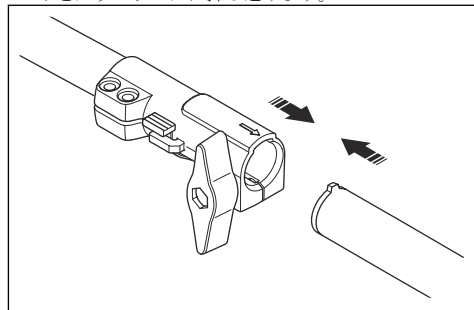
1. ノブを回してカップリングを緩めます。



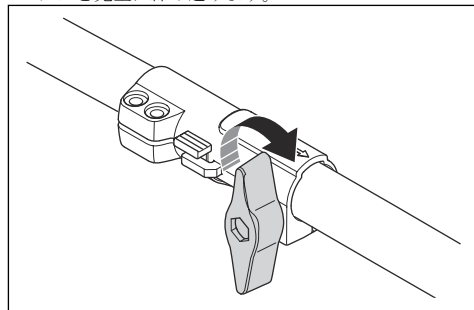
2. タブ (A) をカップリング上の矢印 (B) に合わせます。



3. カチッと音がして所定の位置に収まるまで、シャフトをカップリングに押し込みます。

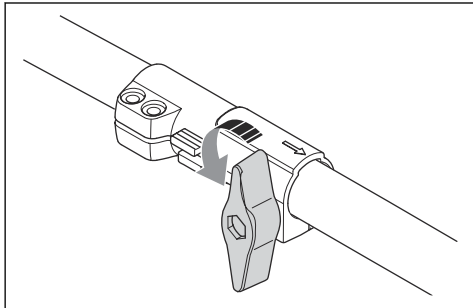


4. ノブを完全に締め込みます。

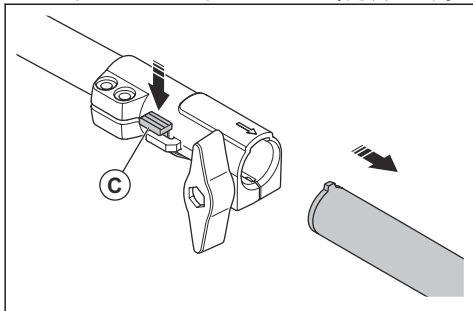


ツーピースシャフトの取り外し

1. ノブを 3 回転以上回して、カップリングを緩めます。

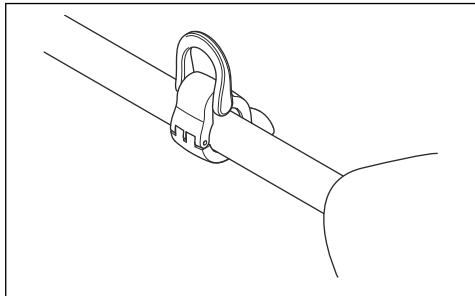


2. ロックボタンを押したまま保持します (C)。
3. モーターに接続した側のシャフトの端をしっかりと保持します。
4. アタッチメントをカップリングから引き出します。



サスペンションリングの取り付け (該当する場合)

1. サスペンションリングをリヤハンドルとループハンドルの矢印の間に取り付けます。



注記： ループハンドルをラベル上に取り付けないでください。

2. 本製品のバランスが取れ、使いやすくなるようにリングを調整します。

Operation (動作)

はじめに



警告： 本製品を使用する前に、安全に関する章を読んで理解してください。

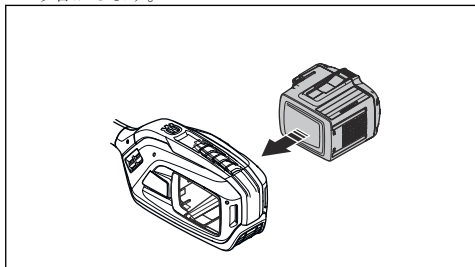
バッテリーの取り付け方法



警告： 本製品には、Husqvarna の純正バッテリーのみを使用してください。

1. バッテリーがフル充電されていることを確認してください。

2. バッテリーを本製品のバッテリーホルダーに押し込みます。バッテリーがロックされると、カチッという音がします。



注意： バッテリーがバッテリーホルダーにスムーズに入らない場合は、バッテリーが正しく取り付けられていません。本製品が損傷する場合があります。

3. バッテリーが正しく取り付けられていることを確認してください。

作業位置

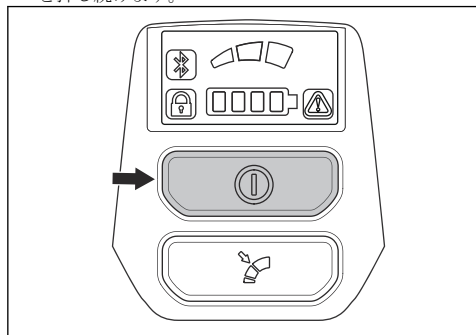
- ・ 本製品は両手で持ってください。
- ・ 本製品は身体の右側に保持してください。
- ・ カuttingアタッチメントは腰から下の位置のままにしてください。
- ・ 熱くなっている表面から身体を離すようにしてください。
- ・ 身体をcuttingブレードから離すようにしてください。

本製品を操作する前に

- ・ 作業エリアの地形の種類や、地面の傾斜を調査し、石、枝、溝などの障害物の有無を確認します。
- ・ 製品の分解検査を実施してください。
- ・ 本書に記載の安全注意事項、メンテナンスおよびサービスを実施してください。
- ・ カバー、ガード、ハンドル、アクセサリーのいずれにも損傷がなく、すべて正しく取り付けられていることを確認してください。

本製品の始動方法

1. 緑色の LED ランプが点灯するまで、スタートボタンを押し続けます。

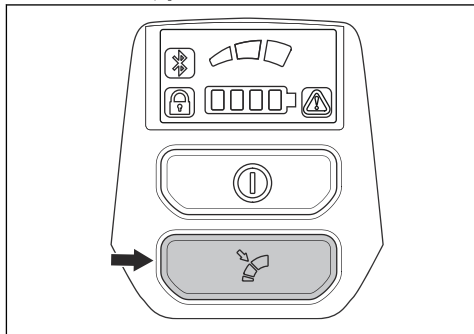


2. パワートリガーで、速度を制御します。

モードボタンによる最高速度の制限

本製品にはモードボタンが付いています。モードボタンを使用して、最高速度を制限できます。モードボタンには3段階の速度レベルがあります。レベルを低くすると、製品の動作時間が長くなります。モードボタンには3段階の速度レベルがあります。レベルを低くすると、製品の動作時間が長くなります。最高速度/最大出力を必要としない場合は、レベル1とレベル2を使用します。作業条件によりフルスピードまたはフルパワーが必要な場合は、レベル3を使用します。作業に必要なレベルより高いレベルを使用しないでください。

1. モードボタンを押して、制限速度を最高速度に設定します。白色のLEDが点灯して、機能がオンであることを示します。



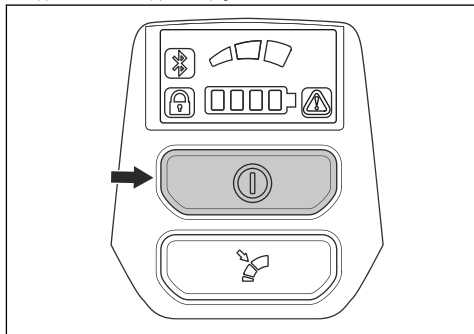
2. モードボタンをもう一度押して、次の速度レベルを選択します。

自動シャットダウン機能

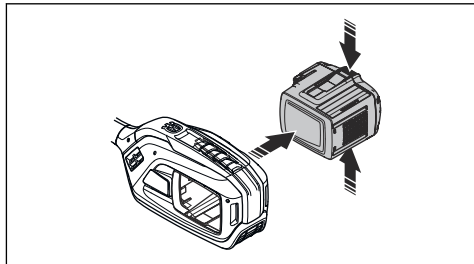
本製品には、未使用時にオフになるシャットダウン機能が搭載されています。

本製品を停止するには

1. パワートリガーまたはパワートリガーロックを放します。
2. 停止ボタンを押します。



3. バッテリーリリースボタンを押して、バッテリーを取り出します。



メンテナンス

はじめに



警告： メンテナンス作業を行う前に、安全に関する章をお読みになり、内容を理解してください。

メンテナンススケジュール



警告： メンテナンスを実行する前にバッテリーを外してください。

本製品に必要なメンテナンス手順のリストは以下のとおりです。

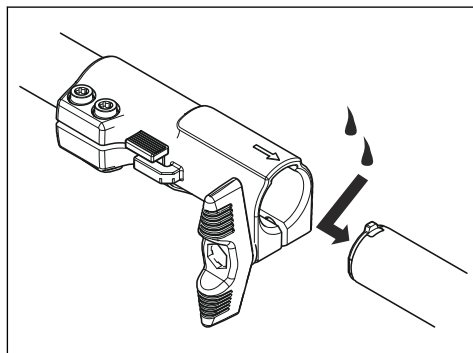
メンテナンス	毎日	毎週	毎月
乾いた布で製品外側の部品を清掃してください。水は使わないでください。	X		
スタート／ストップボタンが正しく機能し、損傷がないことを確認します。	X		
パワートリガーとパワートリガーのロック機能が、安全面から見て正しく動作することを確認します。	X		
コントロールがすべて機能し、損傷がないことを確認します。	X		
ハンドルは乾燥した清潔な状態に保ち、オイルやグリスが付着しないようにしてください。	X		
ネジとナットが確実に締められていることを確認します。	X		
バッテリーリリースボタンが正常に作動し、本製品にバッテリーをロックできるか確認してください。	X		
バッテリーに損傷がないことを確認してください。	X		
バッテリーが充電されていることを確認してください。	X		
バッテリー充電器に損傷がなく、正しく動作することを確認します。	X		
すべてのケーブル、カップリング、接続部を点検してください。損傷がなく、汚れが付着していないことを確認します。		X	
バッテリーと本製品の接続を確認してください。バッテリーとバッテリー充電器の接続を確認してください。			X

製品、バッテリー、およびバッテリー充電器の清掃方法

1. 使用後は、製品を乾いた布で拭いてください。
2. バッテリーとバッテリー充電器を、乾いた布で拭いてください。バッテリーガイドトラックは清潔さを保ってください。
3. バッテリーをバッテリー充電器や本製品に入れる前に、バッテリーとバッテリー充電器の端子に汚れがないことを確認してください。

ツーピースシャフト

30 時間運転するごとに、ドライブシャフトの端にグリースを塗布します。ツーピースシャフトのモデルのドライブシャフト端（スプラインカップリング）が定期的に潤滑されていない場合、それらが固着する危険性があります。



トラブルシューティング

Keypad（キーパッド）

LED 表示	想定される障害	対応措置
緑色の LED が点滅	バッテリー電圧が低い。	バッテリーを充電してください。
赤いエラー LED が点滅	過負荷	チェンが絡まっています。製品を停止してください。バッテリーを外します。不要なものを取り除いてチェンを清掃してください。
	温度の逸脱。	本製品を冷却してください。
	パワートリガーと作動ボタンが同時に押されている。	パワートリガーを放すと、本製品は作動状態になります。
製品が始動しない	バッテリーコネクタが汚れている。	バッテリーコネクタを圧縮空気かブラシを使用して清掃します。
エラー LED が赤く点灯	製品を点検する必要があります。	サービス代理店に問い合わせてください。

搬送、保管、廃棄

搬送と保管

- 同梱のリチウムイオンバッテリーは、危険物の規制に関する規則に準拠しています。
- 民間の運送業者による商用輸送においては、梱包およびラベル付けに関して所定の要件に従ってください。
- 本製品を送送する前に、危険物に関して特別な訓練を受けた担当者にご相談ください。該当するすべての国内規制に従ってください。
- バッテリーを梱包するときは、露出している端子にテープを貼ってください。バッテリーを固定し、動かないように梱包してください。
- 保管するときや搬送時はバッテリーを外してください。
- バッテリーとバッテリー充電器は、乾燥して湿気や霜がない場所に置いてください。
- 静電気が発生するような場所にはバッテリーを保管しないでください。バッテリーは金属製の箱に保管しないでください。
- バッテリーは温度が **5～25°C (41～77°F)** の場所に保管し、直射日光から遠ざけてください。
- バッテリー充電器は温度が **5～45°C (41～113°F)** の場所に保管し、直射日光から遠ざけてください。
- バッテリー充電器は、周囲温度が **5°C ～ 40°C** の場合にのみ使用してください。

- バッテリーを長期間保管するときは、充電量を **30～50 %** にしてください。
- バッテリー充電器は、密閉した乾いた場所に保管してください。
- バッテリーの保管中は、バッテリー充電器から遠ざけてください。子供や許可されていない他の人が機器に触れないようにしてください。施錠できる場所に装置を保管してください。
- 製品を長期間保管する場合は、その前に製品を清掃し、よく点検しておいてください。
- 搬送中および保管中に製品が傷ついたり損傷したりしないように、製品の移動用ガードを使用してください。
- 搬送中は製品をしっかりと固定してください。

バッテリー、バッテリー充電器、および製品の廃棄

本製品や本製品パッケージ上のマークは、本製品が家庭ゴミではないことを示します。電気・電子機器の再利用を行うため、リサイクル営業所に引き渡します。これにより環境や人への被害を防ぐことができます。

本製品のリサイクルの詳細については、地方自治体、廃棄物処理業者または販売店にお問い合わせください。

主要諸元

主要諸元

	325iLK と認可されたアクセサリー
モーター	
モータータイプ	BLDC (ブラシレス) 36 V
出力シャフト速度、1/min	8400
質量	
質量 (パワーユニットのみ)、kg	2.9
騒音排出^{1、2}	
音響パワーレベル、測定 dB (A)	89-103
保証音響レベル L _{WA} dB (A)	90-106
騒音レベル^{3、4}	
使用者の聴覚の等価音圧レベル。ISO 50636-222868 に従った計測値、dB (A) :	78-93
振動レベル^{5、6}	
ハンドルの等価振動レベル。ISO 22867 に従った計測値、m/s ²	1.3-5.5/1.1-3.1

認可されたバッテリー

バッテリー	BLi 200
型式	リチウムイオン
バッテリー容量、Ah	5.2
公称電圧、V	36
重量、kg	1.3

¹ 環境における騒音の排出は、EC 指令 2000/14/EC に従って、音響パワー (LWA) として測定。本機の騒音レベル報告値は、最高レベルとなるオリジナルのナイロンガードを使用して計測されました。保証音響と計測音響の違いは、保証音響に計測結果のばらつきと、同じモデルの異なる個体間の変動が含まれているためです。これは指令 2000/14/EC に則っています。

² 騒音の範囲は、測定値の最低値から最高値までを示します。

³ 報告データによれば、本機の音圧レベルの一般的な統計上のばらつき (標準偏差) は 3 dB (A) です。これは、最高レベルの純正のアタッチメントを使用して測定されました。

⁴ 騒音の範囲は、測定値の最低値から最高値までを示します。

⁵ 報告データによれば、等価振動レベルの一般的な統計上のばらつき (標準偏差) は、2 m/s² です。バッテリー製品および燃焼機関製品の振動レベルの比較には、振動カリキュレーターを使用しています。 <https://www.husqvarna.com/uk/services-solutions/vibration-calculator/>

⁶ 騒音の範囲は、測定値の最低値から最高値までを示します。

認可されたバッテリー充電器

バッテリー充電器	QC330
入力電圧、V	100-240
周波数（Hz）	50/60
電力（W）	330

アクセサリ

アタッチメント

認可されたアタッチメント	アタッチメント番号 ⁷	アタッチメントグループ ⁸	対応
ブラシカッターアタッチメント BCA850	1	1-10	325iLK
ブロワーアタッチメント BA101	11	11-20	325iLK
エッジャーアタッチメント ECA850	21	21-30	325iLK
エッジャーアタッチメント ESA850	22	21-30	325iLK
ヘッジトリマーアタッチメント HA850	31	31-40	325iLK
ヘッジトリマーアタッチメント HA860	32	31-40	325iLK
ボールソーアタッチメント PAX730	41	41-50	325iLK
ボールソーアタッチメント PAX1100	42	41-50	325iLK
ソーアタッチメント PA1100	43	41-50	325iLK
清掃アタッチメント SR600-2	51	51-60	325iLK
刷毛ブラシアタッチメント BR600	52	51-60	325iLK
デサッチャーアタッチメント DT600	53	51-60	325iLK
カルチベーターアタッチメント CA230	54	51-60	325iLK
レシプロケーターアタッチメント RA850	61	61-70	325iLK

⁷ これは、アタッチメントグループ内の認可されたアタッチメント固有の番号です。
⁸ 認可されたアタッチメントは、アタッチメントグループに分類されています。各アタッチメントグループごとに機能が類似しており、類似のステッカーが貼付されています。

適合宣言

EU 適合宣言

ハスクバーナ社(Husqvarna AB, SE-561 82 Huskvarna, Sweden、電話番号: +46-36-146500 は、単独責任のもとで、以下の製品の適合を宣言します。

名称	バッテリー駆動のパワーユニット (刈払機)
ブランド	Husqvarna
タイプ/モデル	325iLK (ベアユニット)
ID	2021 年以降の製造番号

が以下の EU 指令および規制を完全に順守し、

規制	名称
2006/42/EC	「機械類に関する」
2014/30/EMC	「電磁環境適合性に関する」
2011/65/EU	「有害物質の制限に関する」
2000/14/EC	「屋外の騒音に関する」

および以下の規格または技術仕様が適用されています。
EN 62841-1:2015, EN ISO 11806-1:2011, EN 60335-1:2012+A11:2014, IEC 60335-2-100:2002, ISO 11449:1994, IEC 62841-4-2:2017, EN ISO 11680-1:2011, EN 61000-6-3:2007+A1:2011, EN 61000-6-1:2016, EN IEC 63000:2018。

RISE SMP Svensk Maskinprovning AB Box 7035, SE-750 07 Uppsala, Sweden が Husqvarna AB の代理として自主試験を実施しました。証明書の番号は以下の通りです。SEC/19/2539。

試験機関: 0404, RISE SMP Svensk Maskinprovning AB, Box 7035, SE-750 07 Uppsala, Sweden が評議会指令 2000/14/EC 適合性評価補足 VI の準拠を確認しました。証明書の番号は 01/1610/010 です。

騒音排出に関する詳細: 主要諸元 14 ページ。

Husqvarna, 2022-04-11

Stefan Holmberg、研究開発責任者、技術管理、ハスクバーナ社

正式代表兼技術文書担当





www.husqvarna.com

取扱説明書原本



1142805-79



2022-09-19